



北広島町議会報告 沼田真路後援会だより

Vol. 2
発行 沼田真路後援会
発行日 令和7年10月
責任者 沼田真路

討議資料

令和7年第3回定例会が、9月4日から9月22日までの19日間開催されました。令和6年度歳入歳出決算の認定、一般会計補正予算を含む20の議案が提案され、全員協議会、決算審査特別委員会、総務常任委員会及び私が所属する産業建設委員会で協議等を行い、本会議で審議し、全ての議案が、全員の賛成で採決となりました。一般質問では、トップバッターとして演題に立たせていただきました。

令和7年度9月補正予算【総額6億5,000万円】 予算総額 161億5,000万円

主な補正予算の概要については、次のとおりです。

I 活力ある産業の創造と成長

■中山間地域等直接支払制度…2,233万円

○制度交付金の増

■林業振興対策事業…1,002万円

○設計委託料、工事請負費増

II にぎわいと活気に満ちたまちづくり

■生涯スポーツ推進事業…300万円

○きたひろスポーツ推進強化支援事業補助金

○「企業版ふるさと納税」を財源として、トップアスリート有望選手に補助金を交付

■大朝海洋センター運営事業…1,397万円

○屋根、外壁、アリーナ、会議室、トイレ改修費用の増、工事管理委託料の増

○令和8年3月工事完了予定

■豊平運動公園運営事業…318万円

○高圧ケーブル修繕工事

■火葬場管理運営事業…298万円

○慈光苑改修に伴う備品購入費などの増

■芸北オーケストラ運営事業…457万円

○エアコン修繕（総合交流ターミナル、厨房）

III 安心して元気に暮らせる地域の創出

■予防接種事業…1,945万円

○予防接種委託料減、健康被害救済補助金

IV 生活基盤の強化・強靱化

■道路維持修繕事業…1億3,041万円

○除雪委託料、町道維持修繕工事の増

■新エネルギー等普及啓発事業

…1億949万円

○環境省脱「地域脱炭素以降・再エネ推進交付金」活用

○川小田小水力発電所リプレース概要設計

○エネルギーマネジメントシステム構築事業他

■橋梁維持修繕事業…1,500万円

○橋りょう点検等委託料の増

■公園等管理事業…1,500万円

○薬師公園街路灯のLED化（脱炭素先行地域事業）

■農業施設7年災害復旧事業…2,211万円

○災害復旧工事等

■公共土木施設7年災害復旧事業

…2,211万円

○災害復旧工事等

V 住民のための行政運営

■ふるさと寄附金事業…1,532万円

○手数料、委託料の増

■財政調整基金費…8,100万円

○財政調整基金積立金の増

■特定目的基金費…3,750万円

○特定目的基金（ふるさと寄附金）の増

■その他（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

■賦課徴収管理事業…2,145万円

○定額減税補足給付金の増

令和6年度 一般会計決算

歳入総額 181億1,465万3千円

歳出総額 179億741万4千円

議会会期中に決算特別委員会が設置され、「主要施策の成果に関する調書」により各課からの説明を受け、事業内容、その成果など慎重審議を行い、全員一致で認定されました。



一 般 質 問

地方創生2.0基本構想に基づく取組を問う

国が令和7年6月13日付けで閣議決定したこの構想は、全国で実人数1,000万人規模の関係人口創出を目標として明示している。この構想に基づく本町の各種取組について質問しました。

問 この基本構想をどのように受け止め、町の総合戦略や施策にどう位置付けていくのか。

答 財政政策課長

様々な幅広い対策が打ち出されたことは評価できる。次期長期総合計画の策定には、当該構想の考え方を踏まえ、住民の意見を十分に反映した形で検討する。

問 関係人口を拡大させていくために、どのような戦略を考えているのか。

答 財政政策課長

「ふるさと住民登録制度」を活用し、あらゆる層に関心を持って頂き参画してもらうこと。また他市町の好事例を参考にしながら施策の研究を行う。

問 関係人口の代表的な例として、町出身者の会がある。ふるさと会の現状はどうなっているのか。

答 総務課長

旧町ごとに構成されていたが、大朝会、芸北会は解散された。現在は千代田会と豊平会が活動されている。会員の高齢化や新規会員の確保などに苦労されている。

問 「北広島町ふるさと会」のような町を応援してくれる新たな組織を立ち上げてはどうか。

答 総務課長

本町を応援していただける会、例えばファンクラブのような会の創設を検討していきたい。

問 観光客やイベント参加者を、継続的な関係人口へと発展させるため、どのような取組を行っているのか。

答 商工観光課長

本町を知り興味・関心を持ち来訪して頂くため、SNS動画配信やクーポンの配信を行っている。

問 大朝地域においては昨年度、町建設課の提案により「かわまちづくり計画」が策定された。町行政としてどのように支援し、取り組んで行くのか。

答 建設課長

現在、国土交通省のかわまちづくり支援制度への認定申請に向け、河川管理者の広島県と協議を行っている。計画案との調整を図り、協議・調整が整えば、国への認可申請を進めていく。

問 犬追原住宅のトイレが洋式化されていないのはなぜか。また、改修計画はあるのか。

答 建設課長

平成29年度に洋式化する計画であったが、同年度に長寿命化計画の改定を行い、団地内43戸のうち30戸を老朽化により廃止するという計画に変更した。廃止予定の住宅は改修しないため、バリアフリー化をしている2戸を除いて洋式化していない状況。現在入居されている18戸については、和式トイレに洋式トイレを被せるような簡易的な改修を検討している。

問 加計高校芸北分校は「地域みらい留学」として、新庄学園は「さとやま留学」として全国から、また千代田高校においても広く生徒を募集されていると聞いている。公営町有住宅を活用し、親子留学という選択肢が増えれば、生徒募集に大きなメリットになる。その可能性について伺う。

答 建設課長

町営住宅は余裕戸数がほぼ無い状況であるため目的外使用は考えていない。町有千代田住宅については、千代田高校と協議を行っている。但し、確定したものではない。

問 来訪者が多く訪れる大朝駅のトイレは、経年劣化により床が傷んでおり、清掃しても清潔感が出ないという状況である。当該施設の修繕についてどう考えているのか。

答 まちづくり推進課長

現時点では、トイレについて継続的な使用は可能と考えており、修繕実施に至っていない。今後も継続して状況確認し、判断する。

問 持続可能で活力ある地域を築くために、多様な関係人口を戦略的に取り込むことが必要だと考えるが、町長の所見を伺う。

答 町長

本町を知って頂いた方、関係を持たれた方が、継続して関心を持ち、本町の「住民」として更に深く関わって頂けるような「ファン」の獲得を目指し、引き続き、各種情報ツールなどを効果的に活用し、国・県の施策も有効に活用しながら、あらゆる層の方に振り向いて頂けるよう各種施策の展開を図っていく。